

深谷市立幼稚園における保育サービスの向上及び再編方針(案)

1 保育サービスの向上

教育委員会では、子供を安心して育てることができる環境を整え、また、多様化する保護者ニーズに対応するため、深谷市立幼稚園の保育サービスの向上を検討してきました。

このような中、国においては、子育て世代の負担軽減措置として、幼児教育の無償化が打ち出され、平成31年10月より、3～5歳児の幼児教育の無償化が始まる予定となっています。現時点では、保護者の動向は不透明な部分がありますが、3歳児については各施設への入園希望者が増える可能性があります。

こうしたことを踏まえ、平成33年度から全園で次の保育サービスを実施します。

3歳児受入れ	平日の預かり時間の延長
長期休業中の預かり保育	毎日の給食の提供

2 学級編制基準

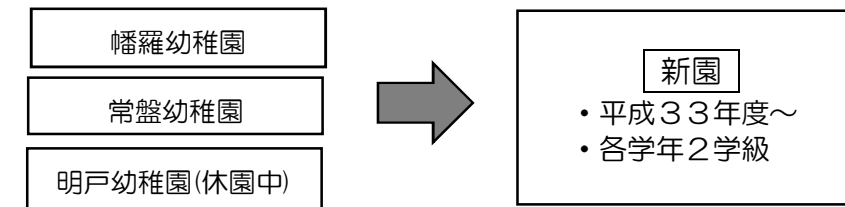
平成33年度から全園で保育サービスを向上させると同時に、一定の集団規模を確保し、幼児教育の充実を図るため、1学年あたりの学級編制を次のとおりとします。

3歳児：10人～20人（25人まで可）※
4歳児：10人～30人（35人まで可）※
5歳児：10人～35人
※副担任を置いた場合

3 再編

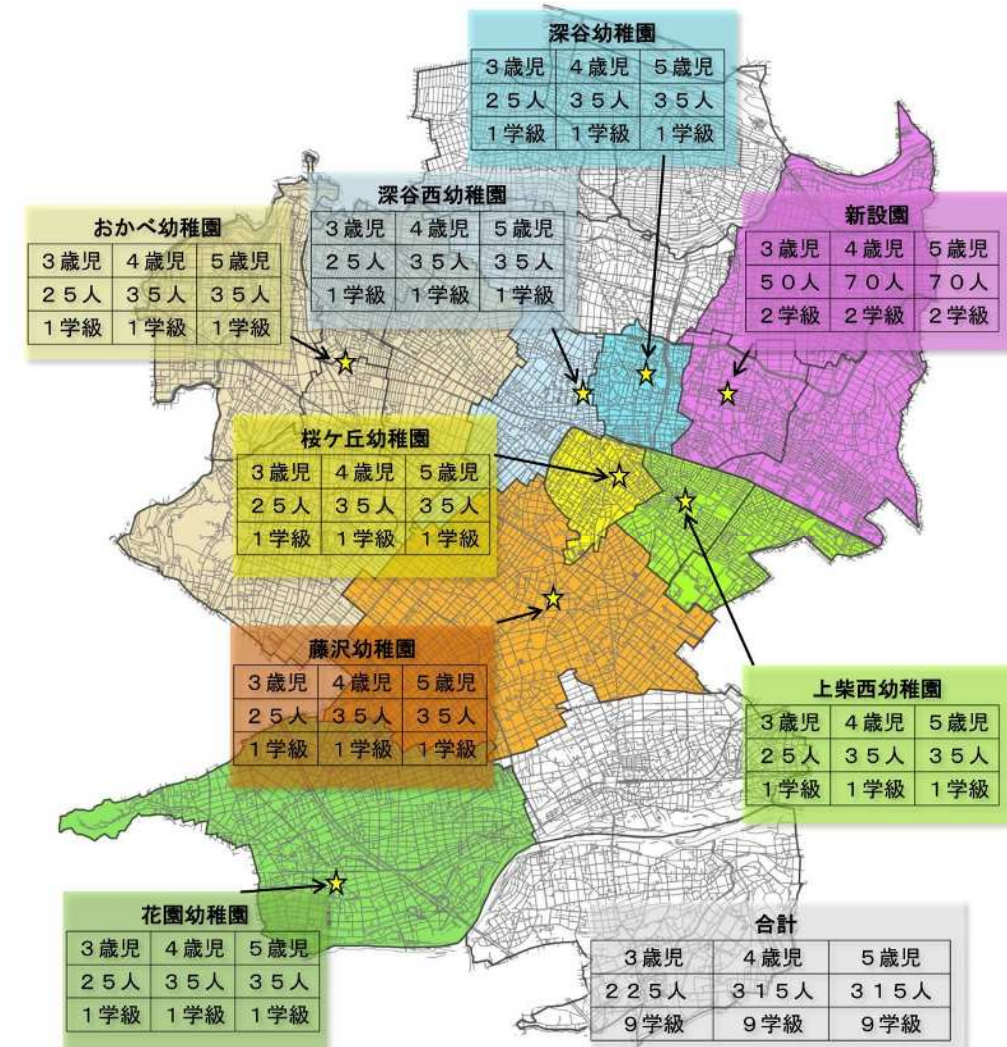
平成33年度からの保育サービスの向上にあたり、小学校校舎内に入っている幡羅幼稚園、明戸幼稚園（休園中）では3歳児の保育室を確保できません。また、近隣の常盤幼稚園においても、3園全ての3歳児を受け入れる余裕はありません。

こうしたことから、これらの地区で3歳児受入れを実施するために、3園を再編して、新園を設置し、平成33年度の開園を目指します。



今後は、幼児教育の無償化に係る状況を見据えつつ、3年ごとに深谷市立幼稚園の就園状況を検討し、再編する時期を見極めていきます。

《平成33年度 園別の学級数・定員数》



《検討の経緯》

平成30年2月15日の議員全員協議会で「深谷市立幼稚園の課題と今後の在り方について」報告した以降、教育委員会で協議を重ねるとともに、有識者、地域の代表者、子育て支援団体代表、保護者その他の関係者で構成する深谷市立幼稚園の再編に係る検討会議を設置し、3回にわたり出席者から意見を聴取した。

平成30年

4月10日 教育委員会定例会報告「深谷市立幼稚園の再編に係る検討会議について」

5月 9日 教育委員会定例会協議「深谷市立幼稚園の課題と今後の在り方について」

5月29日 第1回 深谷市立幼稚園の再編に係る検討会議

6月13日 教育委員会定例会協議「深谷市立幼稚園の在り方について」

6月22日 議員全員協議会報告「深谷市立幼稚園の今後の学級編制基準（案）について」

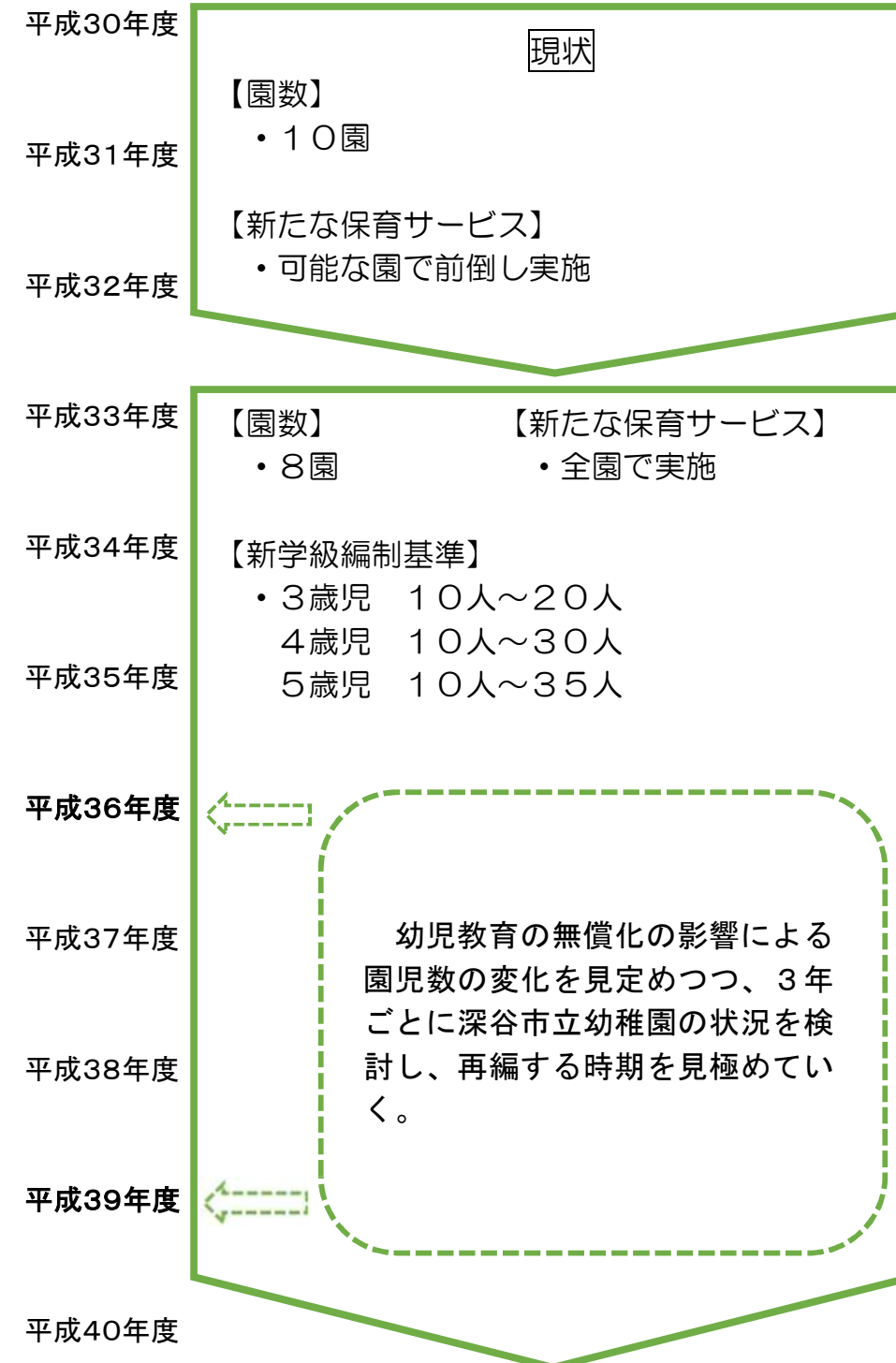
7月 9日 第2回 深谷市立幼稚園の再編に係る検討会議

7月18日 教育委員会定例会協議「深谷市立幼稚園の在り方について」

8月 3日 第3回 深谷市立幼稚園の再編に係る検討会議

8月 8日 教育委員会定例会協議「深谷市立幼稚園の在り方について」

《深谷市立幼稚園の再編のイメージ》



※ 新たな保育サービス

（3歳児受入れ、平日の預かり時間の延長、長期休業中の預かり保育、毎日の給食の提供）